

普及活動情勢報告

情勢報告（平成27年5月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

集落営農の話し合いを始めました



4月25日、沖代集落において、集落営農についての検討会が行われました。

町内の先進事例である（農）藤ノ川ファーマーズの事例を聞き、普及所からは、補助事業・制度等を伝え協議を支援しました。

結果、集落の状況を踏まえて、集落営農の組織化を前向きに話し合っていくことになりました。

今後は、先進事例の研修などにより、集落に合った形を探るお手伝いをしていきます。

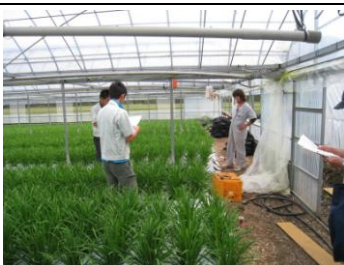
ウイルス病対策と土壌分析の実施を呼びかけました



5月12日、JA高知はた大正支所園芸部の部会員11名が出席し、平成27年度園芸部総会が開催されました。平成27年度の事業計画等が承認され、各小部会の活動を強化し新役員体制の下、若手生産者と一体となった産地振興に取り組むことを確認しました。

普及所は、スプレーギクのアザミウマ類防除によるウイルス病対策と、土壌分析によるシシトウ等の肥培管理の実践を啓発し、生産者自らが実践できる内容を伝えることができました。

レベルアップを目指して・・・ニラ農家の個別巡回面談



4月27, 28日、JA営農指導員と普及指導員がニラの新規農家やレベルアップを目指す農家を対象に、農家のほ場を巡回して面談を行いました（毎月1回、実施中）。

面談では、月別目標収量に対する実績、今後の定植予定時期と一緒に確認し、育苗や病虫害対策などについて助言を行いました。

今後は、27園芸年度の目標収量達成農家の面談を終了し、新たな栽培農家の面談を中心に行っていきます。

経営分析個別説明会（興津）の開催



5月11, 13, 14日、JA四万十と普及所が行った経営分析結果をもとに、31戸の農家に個別説明会を実施しました。

会では、過去3ヵ年の月別出荷量や経営実績、地域平均に比べて多くかかっている費用などについて一緒に確認し、今後の改善策、目標について検討しました。また併せて、生育調査結果をもとに今後の栽培管理の助言を行いました。

参加農家からは「肥料費の見直しを考えたい」などの意見がかけられました。今後も、改善策の実施に向けて支援を行います。

高南地域営農協議会総会の開催



5月19日、JA四万十会館で高南地域の農業の振興及び発展を図ることを目的とした協議会総会が開催されました。会には会員83名中62名が参加し、昨年度実績報告及び本年度計画（案）を協議し承認されました。

この会の事務局は普及所が務めています。関係機関の実務担当者が4部会（企画・担い手、作物振興、畜産振興、販売・加工）に分かれ、地域課題の解決に向け研修講演会、先進地視察、栽培実証ほ、イベント等の事業に取り組んでいくこととなりました。

第1回 高南地区農業改良普及推進協議会の開催



5月21日、普及所で各担当普及員が、農家代表・関係機関の担当者に今年度の普及指導活動計画について説明しました。

農家代表から「ニラでは炭酸ガスの施用で生育促進の効果が見られた。電照装置の導入も考えている。収量8～9t/10aが安定して取れる基本技術を指導して欲しい。新規就農者を増やし10億円も目指したい」「法人化した集落営農で安定経営を目指したい」等、貴重な意見を頂きました。

これらの意見をベースに今後の普及活動を展開していきます。